

2016 年 4 月 27 日

報道関係者各位

## ノーベル平和賞受賞者 カイラシュ・サティヤルティ氏が 東日本大震災被災地で親子との交流イベントを開催

世界の子どもを児童労働から守るために活動する認定 NPO 法人 ACE(東京都台東区、代表 岩附由香)は、児童労働問題に関する日本国内における認知度向上と、その解決に向けた支援の獲得を目的として、5 月 13～16 日にノーベル平和賞受賞者の人権活動家カイラシュ・サティヤルティ氏を受賞後初めて日本に招へいし、各地で様々なイベントを行います。

5 月 15 日(日)には、東日本大震災の被災地のひとつである宮城県山元町を訪問し、震災の傷跡が残る小学校跡地や、復興した市街地、イチゴ生産の現場を視察するとともに、山元町の親子との交流を目的としたイベントを行います。

インドで奴隷状態にある子どもたちを救出し、社会復帰を支えてきたカイラシュさんから、困難を乗り越えて人生を切り拓いた子どもたちの話を聞きながら、いつ何が起きるかわからない不安定な時代において、子どもとおとなが力をあわせて平和で暮らしやすい社会を作っていくために何ができるのかをともに考えます。



### 開催概要

- テ ー マ: 「被災地から世界につながろう！親子で描く、これからの社会」  
聞いてみよう！困難を乗り越えた世界の子どもと山元町のイチゴのはなし  
考えてみよう！わたしたちがつくる、これからの社会のこと
- 日 時: 2016 年 5 月 15 日(日)10 時 15 分～11 時 45 分(開場 10 時 00 分)  
イベント後、参加者はイチゴ狩りをして解散(自由参加、12 時 30 分までに終了)
- 会 場: ICHIGO WORLD(宮城県亘理郡山元町山寺字桜堤 47)
- スピーカー: カイラシュ・サティヤルティ(2014 年ノーベル平和賞受賞者) ※通訳付き  
岩佐大輝(株式会社 GRA 代表取締役 CEO)
- 主 催: 特定非営利活動法人 ACE
- 協 力: 株式会社 GRA、山元町教育委員会 生涯学習課
- 対 象 者: 親子、一般市民 80 名(子どもは小学生～高校生を想定、応募者多数の場合は抽選)
- 参 加 費: 無料(参加者はイチゴ狩りに無料ご招待！)

※イベントの最後に参加者全員で記念撮影を行います。撮影した写真はウェブや SNS などを通じて世界に発信されます。(撮影・写真使用の許可については参加申込時に確認)

◆詳細はウェブサイトのイベントページをご覧ください: <https://acejapan.org/info/event/yamamoto160515>

## 参考資料

### ●カイルシュ・サティヤルティ氏 プロフィール

「カイルシュ・サティヤルティ子ども財団」創設者、「児童労働に反対するグローバルマーチ」名誉代表、2014年ノーベル平和賞受賞者。

1954年1月11日、インド・マディヤプラデシュ州ビディシヤ生まれ。1980年、26歳で子どもの強制労働を撲滅する団体を設立。30年以上にわたり、児童労働問題にグローバルに取り組む。創設したNGO、BBA(子ども時代を救え運動)では84,000人以上の子どもを過酷な労働から救い、救出された子どもに対する教育やリハビリのモデルケースとなっている。「児童労働に反対するグローバルマーチ」を構想。1998年に子どもを含む市民を巻き込み5大陸でマーチを実現させ、翌年のILO「最悪の形態の児童労働条約」の採択につなげた。「子どもや若者に対する抑圧への闘い、およびすべての子どもの教育を受ける権利の保護」の功績が認められ、2014年にマラ・ユスフザイ氏と共にノーベル平和賞を受賞。



東日本大震災の際には、被災地の人々に向けて「日本のみなさんと共にいます」と題する心温まる激励のメッセージを寄せた。

BBA <http://www.bba.org.in/>

「カイルシュ・サティヤルティ子ども財団」<http://satyarthi.org/>

「児童労働に反対するグローバルマーチ」<http://www.globalmarch.org/>

### ●岩佐大輝氏 プロフィール

株式会社GRA代表取締役CEO。日本、インドで6つの法人のトップを務める起業家。1977年、宮城県山元町生まれ。2002年にITコンサルティングを主業とする株式会社ズノウを設立。2011年の東日本大震災後は、大きな被害を受けた故郷山元町の復興を目的に特定非営利活動法人GRAおよび農業生産法人株式会社GRAを設立。先端施設園芸を軸とした「東北の再創造」をライフワークとするようになる。イチゴビジネスに構造変革を起こし、大手百貨店で、ひと粒1000円で売れる「ミガキイチゴ」を生み出す。2012年11月にはインドのマハラシュト州タレガオンに先端イチゴハウスを建設。同年、グロービス経営大学院でMBAを取得。2014年に「ジャパンベンチャーアワード」で「東日本大震災復興賞」を受賞する。著書に『99%の絶望の中に1%のチャンス』は実る』（ダイヤモンド社）、『甘酸っぱい経営』（ブックウォーカー）がある。

### ●宮城県 山元町とACEの絆 — 震災からの復興支援活動を通して —

ACEは「世界中のすべての子どもの権利が守られ、子どもが希望を持って安心して暮らせる社会の実現」というビジョンを掲げて活動するNPO法人です。東日本大震災発生後、被災地域の子どもたちに対して、私たちにできるかたちで復興支援をしていくことを決め、2011年5月より、宮城県亶理郡山元町の「山元町災害ボランティアセンター」(その後:やまもと復興応援センター)へスタッフを交代で派遣し、運営支援などを行ってきました。

2011年6月からは仮設住宅の支援チームに入り、社会福祉協議会の生活相談員と一緒に仮設住宅への物資の配布や見回り活動などを行ってきました。また、仮設住宅の各集会所で、2011年夏に「かき氷祭り」を、2011年から2012年の冬にかけて「おしるこ祭り」を開催するなど、仮設住宅に住む方々の交流の場、子どもたちの遊びの場も提供してきました。

子どもたちが震災を受けての想いや経験を分かち合うことで、子ども自身が持つ「心の傷を癒す力」を引き出すきっかけづくりとして、ワークショップも開催しました。家族や友人と離れて暮らしたり、狭い仮設住宅でストレスを感じたりする気持ちを共有してもらい、ワークショップを通じて「大切なモノ」や「山元町の好きなところ」などの絵も描いてもらいました。

また、仮設住宅に暮らす女性たちが手作りした「イチゴタワシ」や携帯ストラップ「いちごのきもち」などをACEオンラインショップで販売することで、被災地のみなさんの支援を続けています。

#### ◆本件に関するお問い合わせ先

認定NPO法人ACE(エース) 広報担当: 桐村

TEL: 03-3835-7555 MAIL: [press@acejapan.org](mailto:press@acejapan.org)